

環境経営レポート

私たちは、地域と
地球の環境に配慮した
事業者です



エコアクション21

®環境省

認証番号 0008478



第14号

対象期間2024年3月～2025年2月

発行日：2025年5月2日



池戸電気株式会社

目 次

目次・ご挨拶	1
1 組織の概要	3
2 実施体制	4
3 環境経営方針	5
基本理念/行動指針	
4 環境経営目標	6
5 環境経営計画	7
6 環境経営目標の実績・取組結果	8
環境活動計画の取組の結果と評価	
社内での取組	
7 次年度の環境経営目標	19
8 環境関連法規の遵守状況	21
9 代表者による見直しと評価	22



新規事業に取り組み、
夢のある会社づくりを
目指します

代表者挨拶

弊社は 1953 年に電気工事会社として設立し、浜松市内を中心に、学校や役所などの公共事業や工場、病院、商業施設などの民間電気設備工事を中心に、地元の建設業として地域、業界貢献を行ってきました。また 2001 年より CO2 削減などの環境貢献事業の一環として当時では無名だった太陽光発電事業をスタートさせ、現在まで 2000 棟を超える住宅向けや 10,000 kW を超える事業用太陽光発電など太陽光発電事業の発展に貢献してきました。またここ数年では蓄電池や V2H などの新ビジネスにも拡大させてきています。また小中学校、街灯、工場や事務所などに LED 照明の導入も積極的に提案・工事にも力を入れています。

環境貢献認証としては 2012 年にエコアクション 21 認定取得、2020 年には SDGs 事業認定取得してきており、2022 年 2 月には地球温暖化防止に貢献した団体として静岡県知事褒賞も受賞することができました。

今年度も更に環境貢献に向けて、自社内のエネルギー削減のため低消費電力設備・車両の導入、こまめな消灯習慣の浸透を心がけると同時に、従業員への環境意識を向上させるための教育も進めていきます。また敷地内に EV ステーションの設置を 2 口用意するなど地域貢献していきます。

代表取締役社長 池戸智之

事業所名 池戸電気株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池戸 智之
 E-mail: ikedo@ikedo-e.jp
 HP URL: http://ikedo-e.jp/
 所在地 本 社 〒432-8048浜松市中央区森田町80番地
 舞阪太陽光発電所 〒431-0211浜松市中央区舞阪町舞阪字吹上2176, 2178
[TEL:053-441-5561](tel:053-441-5561) [FAX:053-441-7231](tel:053-441-7231)

事業規模

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
工事等の件数	件	780	740	628	595	533
売上高	百万円	659	465	607	658	823
従業員	人	24	22	22	22	24
事務所床面積	m ²	562.44	562.44	562.44	562.44	562.44
倉庫床面積	m ²	359.8	359.8	359.8	359.8	359.8
舞阪太陽光発電所面積	m ²	2,751	2,751	2,751	2,751	2,751

事業活動 建築物に付随する電気設備工事
 住宅用、産業用太陽光発電システム設置工事
 資本金 3600万円
 事業年度 2024年3月～2025年2月
 認証の対象範囲 全組織・全活動を対象
 建設業許可番号 静岡県知事許可（特-4）第1756号
 電気工事業者届出 静岡県知事届出第46286号
 浜松市再エネ・省エネ事業者認定（認定番号省-5）
 環境責任者 業務部 加藤 貴善 E-mail:kato@ikedo-e.jp
 担当者 業務部 加藤 貴善 E-mail:kato@ikedo-e.jp
 資格保有者 1級電気工事施工管理技士 4名
 第1種電気工事士 10名
 第2種電気工事士 6名
 甲種4類消防設備士 4名
 乙種4類消防設備士 1名
 乙種7類消防設備士 2名
 2種あと施工アンカー施工士 5名
 エコ検定 5名
 1級電気通信施工管理技士 1名
 2級建設経理士 2名
 建設ディレクター 1名

設立/沿革

- 1950年（昭和25年）浜松市追分町（現・布橋）に於いて池戸電気工事業所として創業
- 1953年（昭和28年）資本金100万円にて池戸電気工事株式会社
- 1968年（昭和43年）浜松市森田町に本店移転
- 1984年（昭和59年）建設業許可の業種追加
- 1997年（平成 9年）資本金3600万円に増資
- 2001年（平成13年）建設業許可の業種追加
住宅用太陽光発電システム販売開始
小型風力発電機事業ハイブリッド発電照明灯販売開始
- 2003年（平成15年）セキュリティカメラ事業開始
- 2006年（平成18年）産業用発電システム販売開始
- 2009年（平成21年）ソーラー・LED照明灯販売開始
- 2010年（平成22年）カーボンナノチューブ事業開始
- 2012年（平成24年）エコアクション21 認証取得
- 2013年（平成25年）創立60周年を機に池戸電気株式会社に社名変更
- 2014年（平成26年）太陽光追尾型太陽光発電システム・ソーラーカーポート販売開始
- 2015年（平成27年）住宅用蓄電池システム販売開始
ソーラーパーク開設・浜松市次世代エネルギーパークに認定
- 2016年（平成28年）エネルギーソリューション事業（省エネ）開始
池戸電気230kW舞阪太陽光発電所開設
- 2017年（平成29年）台湾桃園市に「池戸崎宏光電股份有限公司」設立
浜松市スマートシティプロジェクト事業認定
- 2020年（令和2年）SDGs事業認定

■ 約1200軒の実績を誇る住宅用システム



2001年に住宅用太陽光発電システムの販売を開始。静岡県浜松市を中心とした地域に数多くのシステムを設置。

■ 産業用システムの設置実績8,000kW以上



2006年に地面設置型を含めた事業用太陽光発電システムの販売を開始。店舗、工場、病院、学校等への設置を行う。

■ 発電量1.4倍の太陽光追尾システム



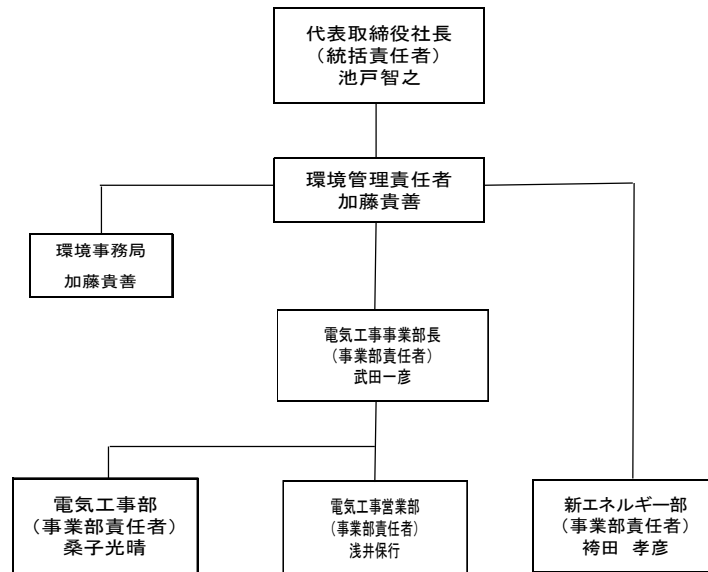
常に太陽の方向を向くよう自動で追尾。発電量は、固定式に比べ約1.4倍。工場敷地、駐車場、公園、農地、遊休地などの土地有効活用に最適。

■ カーポート一体型太陽光発電システム



カーポートの屋根に太陽電池モジュールを設置した発電システム。駐車スペースを有効活用し売電収入を得ることができる。

2. 実施体制・役割・責任・権限



対象者	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

[企業理念]

当社は、電気設備工事業及び新エネルギー事業活動を通じて、省エネ機器導入及び再生可能エネルギーの普及推進を事業所内、周辺地域に対し積極的に取り組み、持続可能な開発目標「SDGs」を考慮した事業活動、環境社会を目指す環境経営を行う。

[環境方針]

(1) 事業を通じた持続可能な地球環境保全

全ての事業活動において、事業自体が地球環境保全に寄与できるよう努めます。

特に太陽光発電システム＋蓄電池事業とLEDなどの省エネ機器導入を推進し、また工事現場における環境保全及び廃棄物の削減活動とリサイクル化に努めます。また再生エネルギーの有効活用を図り地球温暖化ガス削減に努めます。

(2) 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費等を定期的にチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、排水量の削減、そして事務用品・資機材等のグリーン購入に努めます。

(3) 環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定・契約事項を遵守します。

(4) 継続的環境経営システム改善の実施

環境保全に関する目的・目標を認定し、取り組み結果を見直すことにより、継続的な環境経営システムの改善に取り組みます。

(5) 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境保全に関する情報提供を行いまた啓発・教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努め、2050年のカーボンニュートラルの取り組みを積極的に取り組んでまいります。

池戸電気株式会社
代表取締役 池戸智之

制定：2011年11月 1日

改定：2024年 4月30日

4. 環境経営目標

1. 運用期間（2024年3月～2025年2月）の環境目標

項目		単位	基準年2023年	運用期間	
			2023年3月～2024年2月	2024年3月～2025年2月	
			基準値	目標削減率	目標値
環境配慮型製品の提供		件+容量	154		164件 + 950kW
二酸化炭素総排出量		Kg-CO ₂	42,357	1.0%	41,933
内訳	購入電力(事務所)	kWh	23,932	1.0%	23,693
	購入電力(舞阪)	kWh	3,261	現状維持	3,261
	ガソリン使用量	L	11,440	1.0%	11,326
	軽油使用量	L	1,113	1.0%	1,102
都市ガス使用量		m ³	51	現状維持	51
水使用量削減量		m ³	137	1.0%	135
廃棄物	可燃ごみ排出量	kg	126	1.0%	124
	産業廃棄物再資源化率	%	76%	現状維持	リサイクル率76%以上
グリーン購入			配慮		グリーン購入に努める
エコ車両買い換え		台	0		エコ車買い換えに努める

*購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力（2022年度）調整後排出係数「0.459kg-CO₂/kWh」を使用しました。

2. 中長期の環境目標

項目		単位	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
			(3月～2月)	(3月～2月)	(3月～2月)	(3月～2月)	(3月～2月)
			目標削減率				
環境配慮型製品の提供		件	プラス10件	プラス12件	プラス14件	プラス16件	プラス18件
二酸化炭素総排出量		Kg-CO ₂	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
内訳	購入電力(事務所)	kWh	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
	購入電力(舞阪)	kWh	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	ガソリン使用量	L	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
	軽油使用量	L	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
都市ガス使用量		m ³	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量削減量		m ³	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
廃棄物	可燃ごみ排出量	kg	1.0%	1.0%	2.0%	2.0%	3.0%
	産業廃棄物再資源化率	%	リサイクル率76%以上				
グリーン購入			グリーン購入に努める				
エコ車両買い換え		台	配慮				

*環境目標は2023年度を基準年度とした基準年度比を示す。

注）2023年度は、2023年3月から2024年2月までの期間である。

*化学物質の使用はありません。

5. 環境経営計画

環境活動内容			担当者	2024年												2025年		
				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
環境配慮型商品等の販売及び情報提供		太陽光エネルギー利用拡大及び宣伝	袴田孝彦	<----->														
		弊社設置データの公表																
		太陽光・蓄電池・V2Hの販売・促進																
		Eコキュート販売																
二酸化炭素の削減	電気使用量	太陽光発電を導入し、太陽エネルギーを電気として利用	袴田孝彦	<----->														
		EMSの導入																
		エアコン設定温度を暑さ、寒さに合わせて設定する	加藤貴善	<=>	<----->				<----->									
		LED照明機器の採用	桑子光晴	<----->														
		人感センサー管理を設定している																
		事務所・作業所の不要な照明の消灯																
		休憩時間には電気を消灯	加藤貴善	<----->														
		スイッチオフによる待機電力の削減																
	ガソリン・軽油	全車両のエコ・ドライブの周知 文書番号:様式9-01-2	加藤貴善	<----->														
		適正な車両整備を行う																
		帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いを励行する																
		過積載が行われないよう徹底している	桑子光晴	<----->														
		エンジンをかけたままの荷下ろしはやめる																
	廃棄物の削減	一般廃棄物	両面・集約等の印刷及びコピーを徹底している	加藤貴善	<----->													
			使用済み用紙の裏紙を使用している															
雑紙をゴミにせず、まとめて再利用にまわす																		
ごみの分別の徹底																		
帳票など紙類の削減について見直しをおこなう																		
社内LAN等の利用による文書の電子化に取り組む																		
産業廃棄物		詰め替え可能な製品の利用、備品の修理等により製品等の長期使用を進める	浅井保行	<----->														
		簡易包装のものを優先的に購入している																
		現場の廃棄物を混合廃棄物にしないよう徹底	武田一彦	<----->														
		マニフェストに基づき適正に処理する																
		協力会社にも環境活動・ごみの分別の周知徹底																
		現場で使用する材料を過剰に余らせないようにする																
	加藤貴善	<----->																
	加藤貴善	<----->																
水使用量の削減		水漏れ点検の実施	加藤貴善	<----->														
		節水の励行(手洗い時は水圧を弱めて水量を減らす)																
グリーン購入・調達の推奨		文具および原材料の新規購入におけるグリーン購入、グリーン調達の促進	加藤貴善	<----->														
		再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を購入している	武田一彦	<----->														
		社用車についてハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	加藤貴善	<----->														
社会貢献		近隣道路草他草刈作業	袴田孝彦	<----->														
		ホームページ上で環境に関する情報を提供している																
			浅井保行	O									O					
環境教育		環境に対する意識・知識を高める	加藤貴善	<----->														
環境上の緊急対策		緊急事態の想定訓練を実施し検証する	加藤貴善	<----->														

◎ 赤字は2024年度に変更・追加した項目です

6. 環境経営目標の実績・取組結果

1. 運用期間（2024年3月～2025年2月）の環境目標

項目		単位	基準年	2024年度目標値		実績値		評価
			2023年3月～2024年2月		削減率		達成率	
環境配慮型製品の提供		件	154	164	－	84	51.2%	×
(レポートP9の合計)		容量	864	950	－	947	99.7%	△
二酸化炭素総排出量		Kg-CO ₂	42,357	41,933	1.0%	43,014	97.5%	△
内 訳	購入電力(事務所)	kWh	23,932	23,693	1.0%	23,643	100.2%	○
	購入電力(舞阪)	kWh	3,261	3,261		3,222	101.2%	○
	ガソリン使用量	L	11,440	11,326	1.0%	11,685	96.9%	△
	軽油使用量	L	1,113	1,102	1.0%	1,357	81.2%	×
都市ガス使用量		m ³	51	51		34	150.0%	◎
水使用量削減量		m ³	137	135	1.0%	123	109.8%	○
廃棄物	可燃ごみ排出量	kg	126	124	1.0%	96	129.2%	◎
	産業廃棄物再資源化率	%	リサイクル率76%	リサイクル率76%以上		76%	100.0%	○
グリーン購入			配慮	配慮		グリーン購入に努めた		－
エコ車両買い換え		台	0	配慮		配慮した		－
太陽光の発電量(舞阪・ソーラーパーク)		kWh	中電の受給電力量	—		362,373		－
CO2排出削減量(発電量×二酸化炭素排出係数(0.459))						166,329 kg-CO2		－

購入電力

達成率110%超えは◎ 100～110%未満は○ 100%未満90%以上は△ 90%未満は×

*購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力（2022年度）調整後排出係数「0.459kg-CO₂/kWh」を使用しました。

環境活動計画の取組の結果と評価

①環境配慮型製品の提供 目標 2023年度プラス10件

製品の提供	目標件数	件数	kW	数値評価	達成率
(件)	164	84	947	×	51.2%

(件数)

令和6年9月28日実

- ・ 既客様への案内活動。
- ・ DR補助金をのご案内

頻発する災害対策に蓄電池を！



10月末までにご成約のお客様限定

蓄電池を導入するのなら今がチャンスです！
補助金を使って電気の出費削減を目指しませんか？

◆お申込み◆

■当日ご出席できない方も後日個別相談が可能です。お気軽にお問い合わせください。

お名前			
ご住所			
お電話	ご来場人数		
ご希望日時	9月28日（土） ①10:30～ ②13:30～		

お問合せ 池戸電気株式会社

FAX:053-441-2811 メール:ikedo-showroom@ikedo-e.jp
TEL:053-441-5560 メールでのお申し込みはこちらのQRから→

項目	2017年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	件数	kW	件数	kW	件数	kW	件数	kW	件数	kW	件数	kW
太陽光	113	903.15	84	580.24	70	306.8	77	290.68	46	289.66	42	249
産業用	4	465.63	1	73.78					3	196.45	4	250
蓄電池	9	33.6	53	350.1	53	370.9	67	435.5	63	378	29	448
小計	126		138		123		144		112			947
その他	28		37		67		12		50		9	
合計	162	1402.38	175	1004.12	190	677.7	156	726.18	162	864.11	84	947

件数では目標達成できませんでしたが設置容量では目標にあと一步でした。

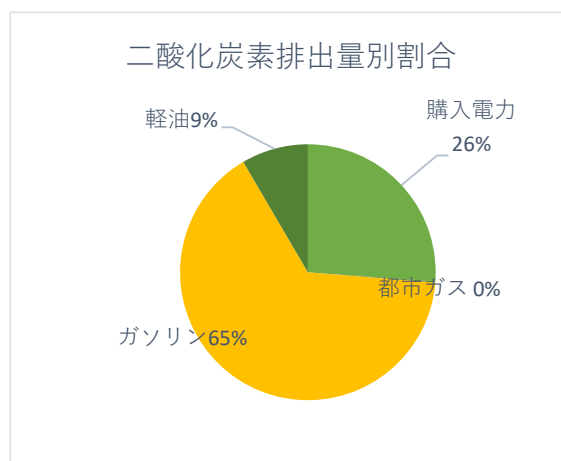
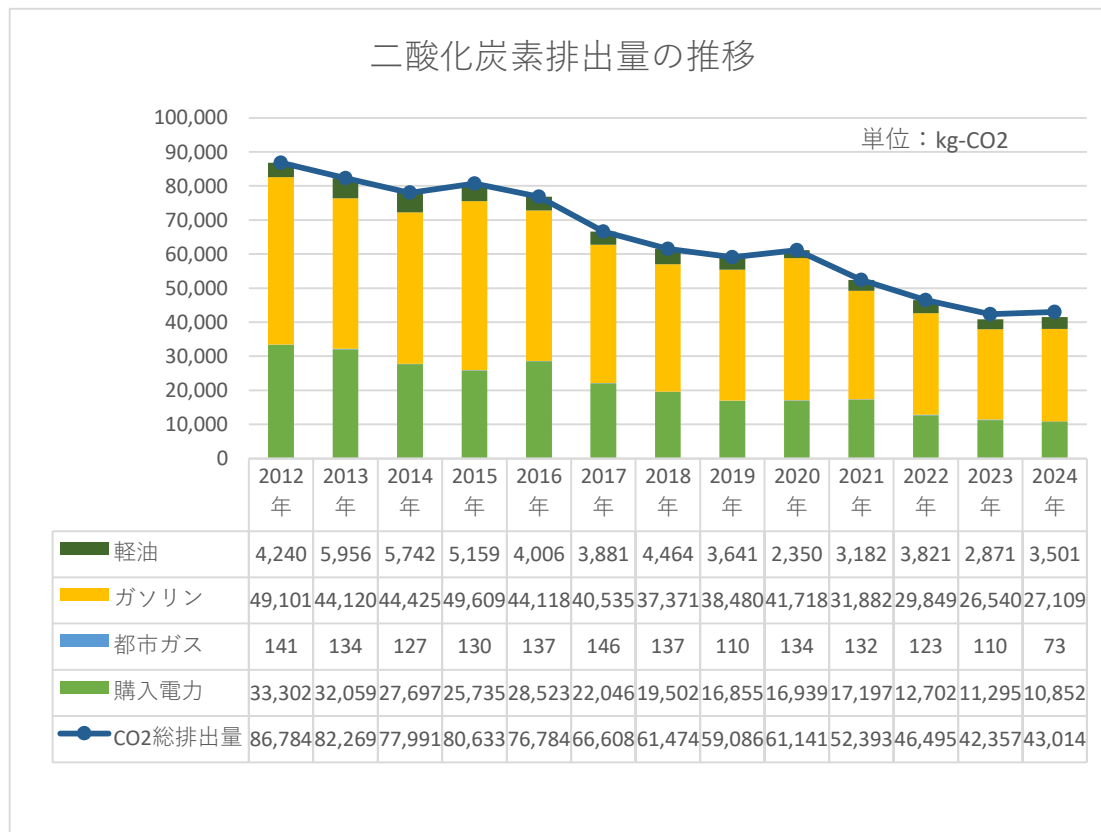
また住宅用太陽光発電も件数と容量は減りましたが、産業用太陽光発電と蓄電池の容量は昨年度よりも増えました。

今後は既存ユーザーへの提案、工務店等への提案、WEB等での集客等にも力を入れていきます。

また事業規模の拡大営業を促進し人員の確保も引き続き積極的にしていきたいです。

②二酸化炭素排出量の削減 目標 2023年度比 -1.0%

二酸化炭素	目標	実績	数値評価	達成率
(kg-CO ₂)	41,933	43,014	△	97.5%



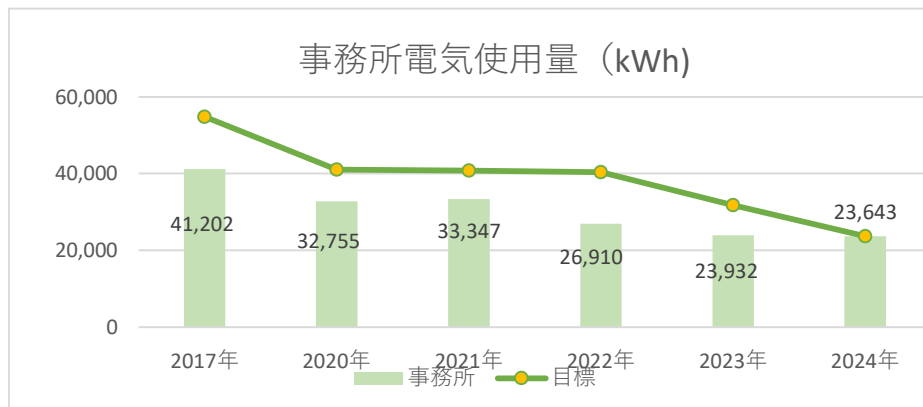
社内照明のLED化、自社敷地内の太陽光発電設備の設置、低燃費車の導入等により目標を達成しました。

エコアクション21での取り組みはSDGs達成に向けた取り組みにも直結します。

「持続可能な社会」に向けて一人一人の取り組みの積み重ねがCO₂削減に役立ちます。今後もE.A.21とSDGsの取り組みを共に推進していきます。

③電気使用量 目標 2023年度比 -1.0%

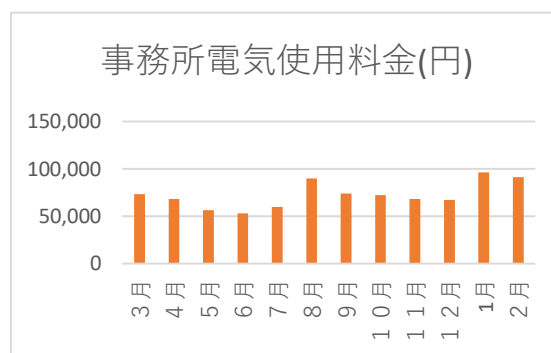
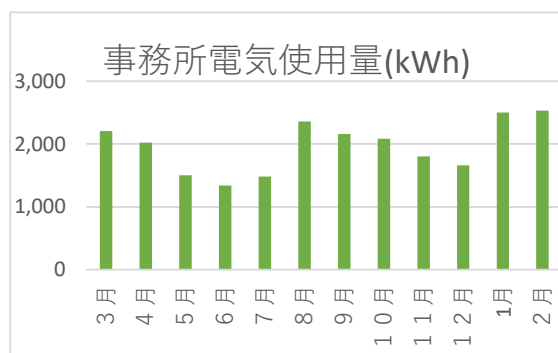
電気使用量	目標	実績	数値評価	達成率
(kWh)	23,693	23,643	○	100.2%



電気使用量 (kWh)	2017年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
事務所	41,202	32,755	33,347	26,910	23,932	23,643
舞阪	3,156	3,133	3,088	3,202	3,261	3,222
合計	44,358	35,888	36,435	30,112	27,193	26,865
目標	54,836	40,996	40,790	40,382	31,725	23,693

事務所の電気使用量のみ目標対象とする。

舞阪発電所の電気量は維持管理とする。



2022年6月9日より弊社倉庫の屋根に太陽光発電システム10.5kWのシステムを設置し、本社社屋につなげました。年間の予想平均発電量は1,009wになります。

2021年7月から2022年6月の電気使用量は33,041kWhに対し2022年7月から2023年6月までの1年間の電気使用量が23,920kWhでした。1年間で▲9,121kWh削減しました。

2024年も同月日で24,254kWhで1年間で当初と比べて▲8,787kWh削減しました。

太陽光発電設置の効果で電気使用量を大きく減らす事ができました。

今後も太陽光発電システム以外の所でも、電気使用量を減らす事ができるように全社員で節電意識を向上させていきたいと思ひます。

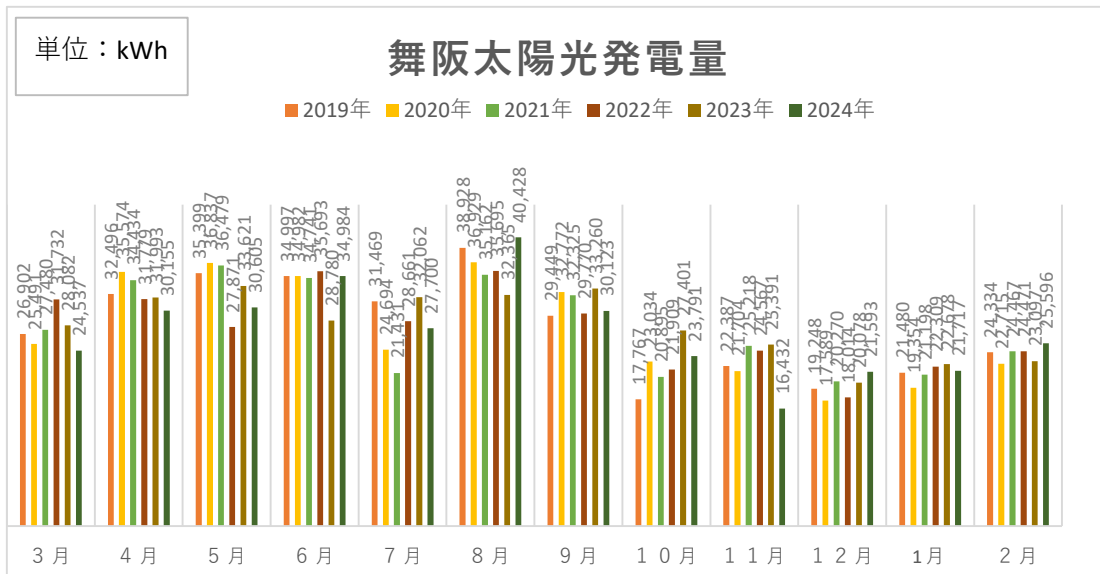




エアコンの定期的な清掃



不要な照明の消灯



年間発電金額 2016年6月より売電開始

舞阪太陽光発電所 234.5kW

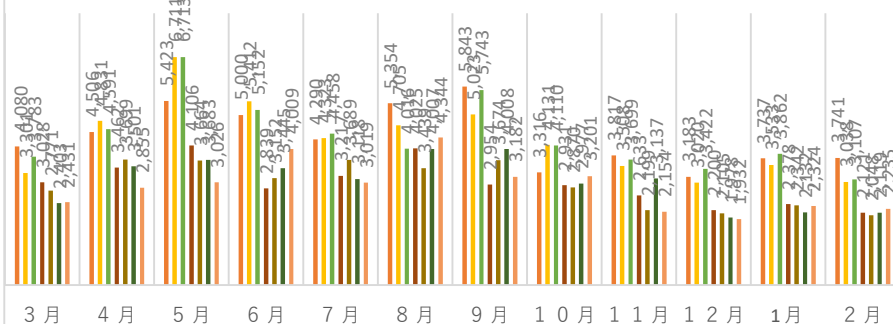
	年間発電金額	年間発電量
2016年	6,956,923円	
2017年	12,021,865円	
2018年	11,572,617円	347,855 kWh
2019年	11,514,753円	334,856 kWh
2020年	11,760,316円	331,675 kWh
2021年	11,688,401円	334,100 kWh
2022年	11,702,974円	332,471 kWh
2023年	11,847,543円	338,808 kWh
2024年	11,433,979円	327,661 kWh

単位：

kWh

ソーラーパーク発電量

■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年



ソーラーパーク年間 売電金額

2014年	228,854 円
2015年	1,330,450 円
2016年	1,749,677 円
2017年	1,792,061 円
2018年	1,807,136 円
2019年	1,789,461 円
2020年	1,853,486 円
2021年	1,263,464 円
2022年	1,254,944 円
2023年	1,276,558 円
2024年	1,200,238 円



ソーラー・LED照明灯

2008年11月

太陽光で発電した電気を蓄電し、夜間に使用する自動点灯型のLED照明灯です。供給電源を必要としないエコな照明灯。



地面設置太陽光18kW

2014年9月

地面設置型の太陽光発電システム。遊休地や雑種地など余った土地を有効活用できます。



ソーラー材ポ-ト3台用5.625kW

2015年3月

ご自宅の屋根に設置できない方や、増設を希望される方にお勧めのカーポート一体型太陽光発電システムです。駐車台数も選択できます。



ソーラー材ポ-ト2台用3.375kW

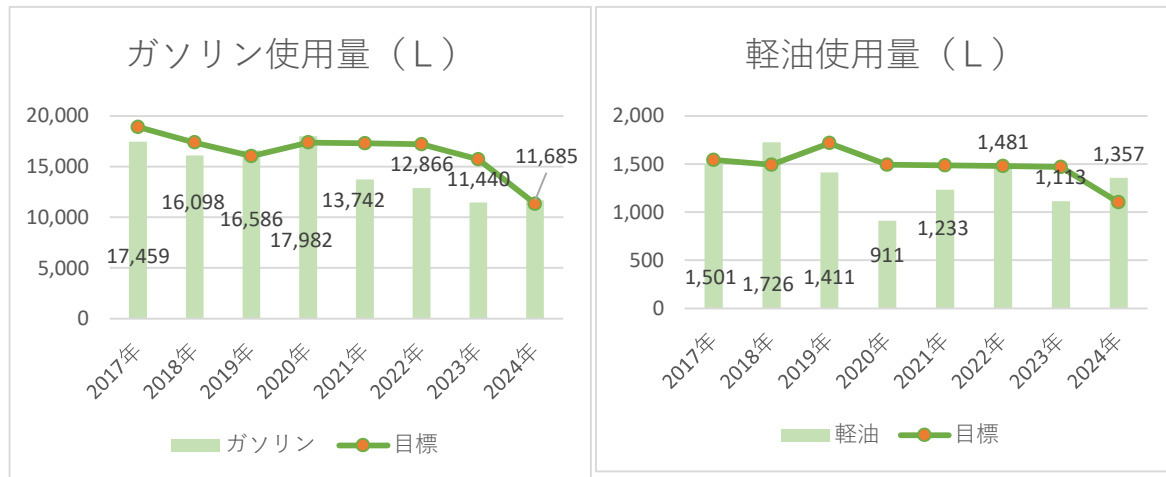
2015年3月

ソーラーパーク年間 発電量

2014年	6,622 kWh
2015年	38,497 kWh
2016年	38,497 kWh
2017年	51,848 kWh
2018年	52,290 kWh
2019年	51,536 kWh
2020年	52,656 kWh
2021年	35,894 kWh
2022年	35,652 kWh
2023年	36,508 kWh
2024年	34,712 kWh

④ガソリン・軽油使用量 目標 2023年度比 -1.0% (ガソリン)
-1.0% (軽油)

ガソリン	目標	実績	数値評価	達成率
(L)	11,326	11,685	△	96.9%
軽油	目標	実績	数値評価	達成率
(L)	1,102	1,357	×	81.2%



ガソリン使用量の削減に加え、

無駄なエンジンのかけっぱなしをやめたり、急加速、急発進をしないようにしました。車両買替の際にはできる限り低燃費車・低公害車の購入を検討。エコドライブの推進を図り、また現場へ向かう時も荷物の忘れ物がないか再度確認をして無駄な移動がないかなど従業員一人一人が意識して更なる削減に努めます。

今年度は道路照明灯の工事があり軽油の高所作業車、ユニック車の使用頻度が多く軽油の使用量が増えたと考えられます。

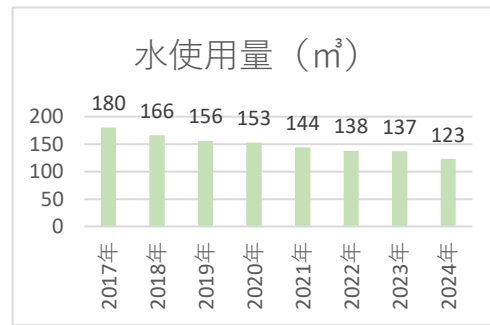
⑤ガス使用量 現状維持 ⑥水使用量 目標 2023年度比 -1.0%

ガス	目標	実績	数値評価	達成率
(m³)	51	34	◎	150.0%
水	目標	実績	数値評価	達成率
(m³)	135	123	○	109.8%

水の使用量は削減でき、目標達成できました。

ガスの使用量の大幅な削減は夏の暑い時期が長く使用頻度が減ったことと給茶機の導入で、お茶を沸かすことが減ったことが考えられます。

ガス器具の早めの点検・修繕など引き続き活動を継続して削減に取り組めます。



⑦廃棄物排出量・再資源化率

可燃ごみ排出量	目標	実績	数値評価	達成率
(kg)	124	96	◎	129.2%
産業廃棄物再資源化率	目標	実績	数値評価	達成率
(%)	76%以上	76%	○	100.0%

目標

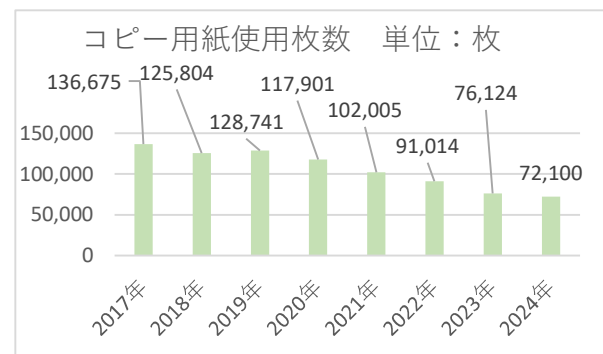
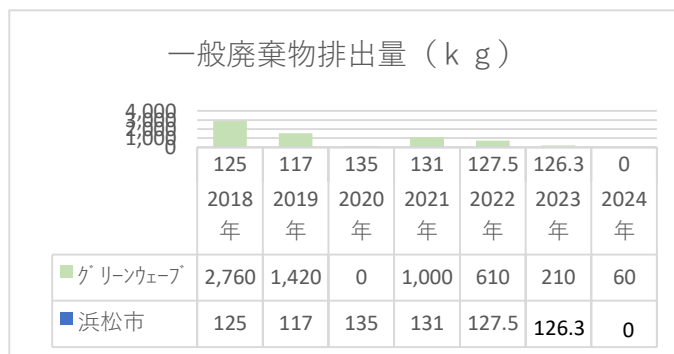
2023年度比

-1.0%

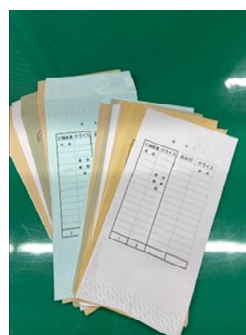
今年度は自主搬入分を除く

目標

再資源化率76%以上



封筒の再利用

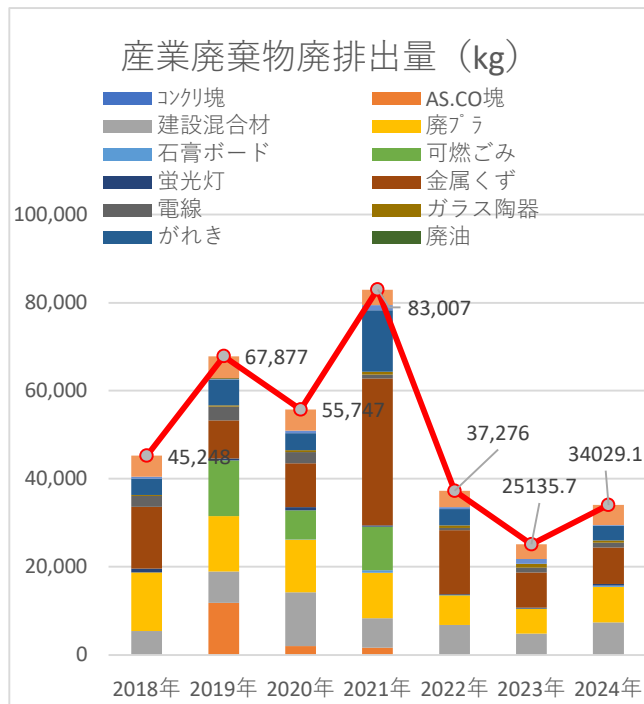


裏紙の再利用

朝礼や環境教育を通じて紙類の再生利用の徹底と無駄なごみを出さないよう日頃から心がけています。コピーの使用量は着実に減っています。

3月よりDX推進委員会を設置してペーパーレス化を推進し、更なる削減に取り組みます。

また今年度より可燃ごみを小坂商店さんに回収依頼をお願いしました。



産業廃棄物の排出量・再資源化率

引き続き分別の徹底を実施し資源になるものはしっかりとリサイクルしていきたいです。

⑧グリーン購入

環境配慮型商品を優先的に選ぶことが日常的に浸透化してきています。

詰め替え可能な文具や日用品を積極的に購入しています。

しかし予算の影響も受けやすく低コスト商品を選ぶこともあります。

コスト面で影響のない商品の利用の継続をします。

⑨社内での取組

設定したゴールに向けて
社員全員で達成を目指し
持続可能な開発目標 (SDGs)
を



- 月に1度、社員を対象に安全衛生会議の実



安全衛生会議

- 建通新聞に掲載されました。

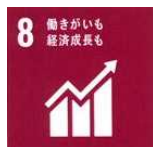


年2回の国1の清掃活動
(令和6年11月8日実施)



環境配慮型製品の提供・環境負荷の削減

- ・ エネルギーは大切に使い、再生可能エネルギーの導入にも積極的
- ・ 環境に良い製品・サービスを提供します。
- ・ CO₂排出量削減はE A 2 1の中心的活動です
- ・ 電気・ガソリン・ガス・廃棄物の削減
- ・ グリーン購入に取り組みます
- ・ ペーパーレス会議の導入
- ・ 週1回ショールーム周辺の美化活動、月1回社屋周辺の美化活動の推進
- ・ 国道1号線清掃活動（年2回）
- ・ 使用済み切手の回収、エコキャップの回収
- ・ 浜松市省エネエコチャレンジ認定更新



環境経営レポートの公表・教育訓練の実施

- ・ エコアクション21中央事務局サイト
- ・ 環境教育、安全衛生会議（月1回）の実施
- ・ 防災訓練（年1回）
- ・ 全社員が環境に取り組むことを理解して省エネ・廃棄物削減に取り組む
- ・ 資格等の取得を自発的に促し1回目の受講料を無料にするなどスキルアップの為の取り組み



水使用量の削減

- ・ 日常的な節水励行

7. 次年度の環境経営計画

取組項目	2024年度 活 動 内 容	2024年度 評 価		2025年度 取組内容
環境配慮型商品等の販売 及び情報提供	太陽光エネルギー利用拡大及び宣伝	○	日頃の営業活動 を通して利用拡大 を推進している	継続・検討・実施
	弊社設置データの公表	○		継続・実施
	太陽光・蓄電池の販売・促進	○		継続・検討・実施
	HEMSの情報提供・販売	○		継続・実施
二酸化炭素の削減 電気使用量の削減(購入電 力)	太陽光発電を導入し、太陽エネルギーを電 気として利用	○	実行できた	継続・検討・実施
	EMSの導入	○	実行できた	継続・実施
	エアコン設定温度を快適な温度に設定	○	実行できた	継続・実施
	LED照明機器の採用	○	実行できた	継続・検討・実施
	人感センサー管理を設定	○	実行できた	継続・検討・実施
	事務所・作業所の不要な照明の消灯	○	実行できた	継続・実施
	間引き照明の実施	○	実行できた	継続・実施
	スイッチオフによる待機電力の削減	○	実行に努めた	継続・実施
燃費使用量の削減(ガソリ ン・軽油)	全車両のエコ・ドライブの周知 文書番号: 様式9-01-2	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	適正な車両整備を行う	○	実行できた	継続・検討・実施
	帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いを 励行する	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	過積載が行われないよう徹底	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	エンジンをかけたままの荷下ろしはやめる	△	実行に努めた	継続・検討・実施

○：よくできた △：できたがややものたりない ×：がんばろう

廃棄物排出量の削減 一般廃棄物	両面・集約等の印刷及びコピーを徹底している	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	裏紙の使用	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	簡易包装のものの優先購入	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動	○	実行できた	継続・検討・実施
	ごみの分別の徹底	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	社内LAN等の利用による文書の電子化に取り組む	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	詰替可能な製品の利用、備品の修理等長期使用を進める	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	帳票など紙類の削減について見直しをおこなう	○	実行に努めた	継続・検討・実施
産業廃棄物	現場の廃棄物を混合廃棄物にしないよう徹底	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	マニフェストに基づき適正に処理する	○	実行できた	継続・検討・実施
	協力会社にも環境活動・ごみの分別の周知徹底	○	実行できた	継続・検討・実施
	現場で使用する材料を過剰に余らせないようにする	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	廃棄物の最終処分先の確認	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	消耗品回収箱の設置でリサイクル	○	実行に努めた	継続・検討・実施
水使用量の削減	水漏れ点検の実施	○	実行できた	継続・実施
	節水の励行	△	実行に努めた	継続・実施
グリーン購入・調達推奨	文具・原材料のグリーン購入、グリーン調達の促進	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	再生可能、有害性含有量が少ない建設資材等の購入	○	実行に努めた	継続・検討・実施
	社用車はハイブリッド車や低燃費車等への切替	○	実行に努めた	継続・検討・実施
社会貢献	近隣道路草他草刈作業	○	実行できた	継続・実施
	ホームページ上で環境に関する情報を提供している	○	実行できた	継続・実施
	地域美化清掃（設備協会）	○	実行できた	継続・実施
環境教育	環境に対する意識・知識を高める	○	実行できた	継続・検討・実施
環境上の緊急対策	緊急事態の想定訓練を実施し検証する	○	実行できた	継続・検討・実施

8. 環境関連法規の遵守状況

【環境法規制等順守 チェックリスト】

法規・条例・規制	条・項	適用内容・遵守事項	遵守状況	担当者
法規・法令				
廃棄物処理法	法第2条第2項等	廃棄物の分別	適法	加藤
	法第11条第1項	適正に処理すること	適法	加藤
	規則第8条第1号等	保管場所の確認 設置看板の掲示60x60cm	適法	加藤
	法第12条2項・規則第8条等	保管基準の遵守	適法	加藤
	法第12条第6項・令第6条の2第1号及び第2号等	委託基準の遵守	適法	加藤
	法第12条第6項・令第6条の2第4号・5号、規則第8条等	委託契約の確認（エムエスケイ令和7年8月19日）	適法	加藤
	法第12条の3第1項、規則第8条の20	管理票の交付	適法	加藤
	法第12条の3第1項、2項、規則第8条の21等	管理票の確認・保存	適法	加藤
	法第12条の5第1項、2項、規則第8条の31の3	電子マニフェストの登録	適法	加藤
	法第12条第7項等	現地確認等による処理状況の確認	適法	加藤
	法第12条の3第6項、規則第8条の26及び第8条の28	管理票の確認・保存	適法	加藤
	法第12条の5第6項	電子マニフェストの処分終了の確認	適法	加藤
	第12条の4	虚偽の管理表の交付の禁止	適法	加藤
	第16条	不法投棄の禁止	適法	加藤
	法第12条の3第7項	管理表交付等状況報告書（前年度実績、毎年6月30日までに）	免除	加藤
フロン排出抑制法	2020年4月1日に施行	簡易定期点検 ・ 機器廃棄時の回収	適法	加藤
家電リサイクル法		リサイクル券の発行	適法	加藤
グリーン購入法		できる限り環境物品等を選択	適法	加藤
条例				
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務 適正な処理	適法	加藤
	第8条	産業廃棄物管理責任者の専任	適法	加藤
	第10条	産業廃棄物の実地の確認等	免除	加藤
	第11条	産業廃棄物の不適正な処理に係る措置等	適法	加藤
浜松市廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務 適正な処理	適法	加藤
	第8条	産業廃棄物管理責任者の専任	適法	加藤
	第10条	産業廃棄物の実地の確認等	免除	加藤
	第11条	産業廃棄物の不適正な処理に係る措置等	適法	加藤
浜松市音・かおり・光環境創造条例	第8条第2項	騒音の防止	適法	加藤

法規の遵守状況を確認した結果、問題ないことを確認しました。

関係機関等からの指摘、地域住民からの苦情も訴訟ありませんでした。

2025年4月14日

環境管理責任者 加藤貴善

9. 代表者による見直しと評価

報告	作成
加藤貴善	加藤貴善

作成 2025年4月23日

1・見直し 関連情報	項 目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ CO ₂ 排出量は達成、電気大幅増、燃料達成
	3 環境経営活動計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 別紙にて報告するようにします
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 別紙報告の通り
	8 その他()	☐

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	今年度も昨年同様、環境経営方針に基づき、環境ビジネスの推進、社内の教育を実施してきましたが、施工場所が磐田方面が多く、また昨年に比べ25%の売上増ということもあり、ガソリンや軽油などの車両燃費が増加したため、目標値を達成できなかった。また環境配慮型製品の提供に関しては、住宅建材価格の高騰により新築住宅需要が伸びず、住宅用太陽光発電設備の導入が進まなかった。一方、太陽光発電設置後10年以上の顧客も増えてきており、FIT終了に伴う売電単価の大幅な下落や災害・停電対応のための蓄電池、V2Hの設置が伸びてきている。 目標達成は、仕事量、現場位置、製品群の変化などに影響するため、そうした因子を含んだ目標設定を行う必要があると感じたので、今後の課題としていきたい。 昨年は中途社員が3名入社し、新入社員研修における仕事、環境教育を実施したうえで各現場にてOJTを交えたわかりやすい教育を進めてきている。 社内のDX化を積極的に進めてきており、併せてペーパーレス化も行ってきた成果としてコピー用紙使用枚数や可燃ごみ排出量は確実に減ってきており、今後さらに推進していく。 2025年4月23日 池戸電気株式会社 代表取締役 池戸智之		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・無	
	2 環境経営目標	有・無	
	3 環境経営活動計画	有・無	
	4 実施体制	有・無	
	5 その他のシステム要素	有・無	
	6 その他(外部への対応)	有・無	